

順天堂医院ニュース 2020 NO.71

2020年度を迎えて ～院長報告～

今年の4月から院長として2年目を迎えます。昨年の暮れから始まった「新型コロナウイルス感染症」パンデミックは勢いが衰えることなく、逆に世界中に猛烈な勢いで広がっています。日本も例外ではなく、4月12日現在、7,000人を超える感染者が発生し死者も130人を超えています。政府は4月7日に緊急事態宣言を発令しましたが、東京都内の感染者数は増加の一途をたどりオーバーシュートの直前までできています。順天堂医院も例外ではなく多くの疑い患者さんが来院されております。しかし幸い大きな院内感染もなく、診療機能を一部制限しつつも継続しています。元来当院は感染対策で厳しい基準が設けられている国際病院機能評価であるJCI (Joint Commission International) の認定を受けており、感染症対策には定評がありましたが、今後特定機能病院としてこの未曾有の感染症への対策をさらに強化します。順天堂医院に外来通院あるいは入院されているすべての一般患者さんと職員を守るため、4月13日より来院される患者さんに体温チェックをさせて頂いています。新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者さんを、通常の外来とは別の完全な感染対策が施された専用外来で拝見することで、一般の患者さんや職員へ感染しないようにします。また、新型コロナウイルス感染症の患者さんを適切かつ迅速にトリアージをすることで、感染患者さんと一般の患者さんが交差せずに安心して治療を受けていただけるよう最善の配慮を致します。

順天堂医院は、現在も今後も多くのがんや難病の患者さんに最高・最良の医療を提供していきます。この人類が経験したことのない感染症も必ず制御できます。新型コロナウイルス感染症の収束が見えてきた時点で、先進的医療を加速させます。そして世界でも類をみない万全の感染対策を備えた順天堂医院は、全力で安心・安全な高度先進医療を届けてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

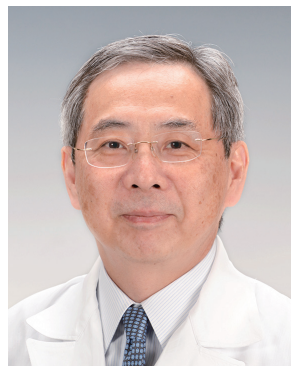


順天堂大学医学部附属順天堂医院
院長 高橋 和久



副院長ご挨拶

高橋院長のもと順天堂医院副院長を務めている村上晶です。専門は眼科です。様々な患者さんの診療にあたらせていただき、私達が求められていることをよく理解し、治療や経過観察が確実に行えるよう一層の努力が必要であると感じています。安全で質の高い医療を行うための仕組みをさらに充実させ、診療所や他の病院との連携をより強固なものにしていきたいと思っております。順天堂医院は医学部附属病院として、診療とともに教育と研究を行う役割を持っています。日々の診療のなかで、医学の進歩を実感していただくとともに、次の世代を担う医療者を育てるために、患者さんやご家族のご理解とご協力をいただき、ひとりでも多くのかたに新しい医療への期待と希望を持っていただけるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



副院長 村上 晶

4月から順天堂医院副院長を務めさせていただいている大腸肛門外科の坂本一博です。昨年度は、高橋院長のもとで院長補佐を務めさせていただきました。

順天堂医院は、特定機能病院として、高度な医療を安全に提供できるように、全職員で取り組んでいます。また、2015年には日本の大学病院本院では初めて、国際基準の医療の質および患者安全を担保した医療施設として、JCI国際認証を取得しました。2018年には、厳密な審査を経て更新が認められました。現在、新型コロナウイルスによる感染拡大が予断を許さない状況です。しかし、JCI取得に取り組んだ成果がこの難局を乗り越える力になると信じています。どんな時でも、安全で安心できる医療の提供を目指して、努力していきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長 坂本 一博

2年目に入りました高橋院長体制のもとで4月から副院長を務めます放射線科の桑鶴良平です。画像診断、血管内治療を専門としています。診療機械、薬事、臨床検査、放射線、医療情報、医療環境などを担当しています。現在、日本では新型コロナウイルス感染症が国内に蔓延しており、これを機に今年度も昨年度から進めています患者さんの院内各所での待ち時間の短縮を、ITも有効に活用して一層進めていく予定です。



副院長 桑鶴 良平

診療面でも、入院、外来の各部署で日々進歩するIT, AIの活用を目指し、現在一部の科で導入しているITを活用したオンライン診療を、難病の患者さんを中心に更に推進していく所存です。AIによる画像診断も一部導入し、診断のスピードや精度を上げていく取り組みに着手していきたいと考えています。また、種々の診療機械、医療材料を有効に利用、使用するとともに安全な診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長補佐ご挨拶

4月から院長補佐を務めさせていただきます膠原病・リウマチ内科の山路 健です。高橋和久院長の下、医療連携や医療サービス、療養生活支援、広報などを担当いたします。かかりつけの医療機関からご紹介いただいた際には円滑に適切な担当医の診察が受けられ、診察後には速やかにかかりつけの先生にご報告が出来るようにしております。また、社会福祉制度や医療費などの経済的なこと、療養生活の様々な心配事やお悩みを解決するお手伝いもしています。そして、最新医療に関するトピックスや療養生活に役立つ有益な情報を解りやすく皆さんにお届けするにもしています。



院長補佐 山路 健

高度で安全な医療を提供するのみではなく、外来診療から入院加療、そして退院後の療養生活に至るまで、様々な状況において患者さんやご家族の方々が安心して快適な療養生活を送っていただけるようにお役に立てれば嬉しいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



手術室看護師の取り組み紹介

今回からシリーズで患者さんたちに最も近い現場の看護師達が、どのような看護実践や取り組みをしているのかを紹介してまいります。

初回となる今回は手術室ナースで経験6年目の瓜生看護師です(写真中央)。写真が見つめるその先は患者さんの術野を映し出すモニターです。この日は小さな子どもの手術介助、手術の世界では“器械出し”と言われる役割です。医師とのスムーズな連携には経験に裏付けられた阿吽の呼吸が必要とのことですが、同時に周囲のモニター音の変化や、スタッフの動きにも注意を払い患者さんを中心に、張り詰めた時間の中で瞬間にすべきことを判断すること。手術看護師の役割とは、まさにその短い時間の中で5感を駆使し、客観的な情報や患者さんの反応を捉えながら、無事に安楽に手術を終えるためにケアしていくことに醍醐味があります。その看護は手術当日に患者さんとお会いした瞬間から始まり、麻酔が始まるまでの30分に満たない時間のなかで、自分が看護師としてケアできることを伝え、患者さんの表情・息づかいから緊張や不安を軽減するためにアプローチをし、手術に最適な体位や準備を進めると話していました。無事に手術を終えたこの日、担当した小さな患者さんがいかに頑張っていたかをご両親に伝えたいとのこと。時には患者さんの代弁者になることも必要なのだそうです。



薬剤部ニュース



漢方薬について

「漢方」とは、古代中国の医学を起源とし、日本独自に発展した医学のことを指します。その理論に基づき、数種類の生薬(植物・鉱物・動物の一部からなる薬)を決められたレシピで調合・抽出したものが「漢方薬」です。漢方では個人の体質・体調を総合的に診断し、漢方薬によって心身両面のバランスを整え、自然治癒力を引き出す治療を行います。

漢方薬は吸収を良くするために食前・食間の服用が基本とされていますが、胃もたれや飲み忘れの問題につながる場合、食後に変更となる場合もあります。

本院が採用しているツムラの漢方製剤は、水かお湯でそのまま飲む、またはお湯に溶かして飲むのが基本です。冷えや寒気のある場合は温めて、熱や吐き気のある場合は冷まして飲むとより効果が高まります。飲み込むのが苦手な方は、少量のお湯で練り口内に塗って、またはゼリー状のオブラートに混ぜてお飲みください。

味が苦手という場合、オブラートを使用する、少量のお湯でペースト状にしてからココア・アイスクリームなどに混ぜるという方法もあります。チョコレート・コーヒー系の濃い味と好相性です。

頻度は低いものの、漢方薬でも副作用やアレルギー症状が出ることがあります。漢方薬を飲んで体調が悪くなった場合は薬剤師にご相談ください。





アミロイドPET

当院放射線部でアミロイド PET (陽電子放射線断層撮影) 検査の運用を開始しました

2025年には高齢者の5人に1人が認知症に

認知症の種類として、最も割合が多い「**アルツハイマー型認知症**」

アルツハイマー型認知症 (AD) は、アミロイド β というタンパク質の脳内への異常な蓄積が発症原因の一つと考えられています。アミロイド PET 検査では、微量の放射線 (陽電子) を出す薬剤「アミロイド PET イメージング剤」を注射します。この薬剤は脳内のアミロイド β の蓄積の有無や程度を調べることができ、認知症をより詳しく評価することが可能で、治療薬の選択や治療方針に十分役立つと考えられています。

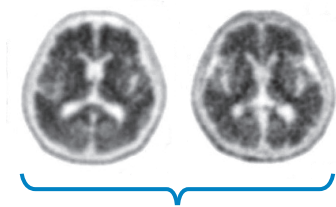
当院放射線部ではアミロイド PET 検査を次のように行っております。

アミロイドPET検査の流れ

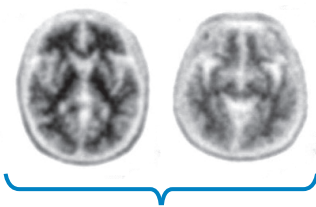
来院 → 身体測定 → 検査薬の投与 → 安静 (約 30 分) → 撮影 (約 10 分) → 待機
(来院から帰宅まで 2.5 ~ 3 時間ほどです)

*この検査は保険適用外 (自費診療) となります。

アルツハイマー型認知症 PET 検査画像



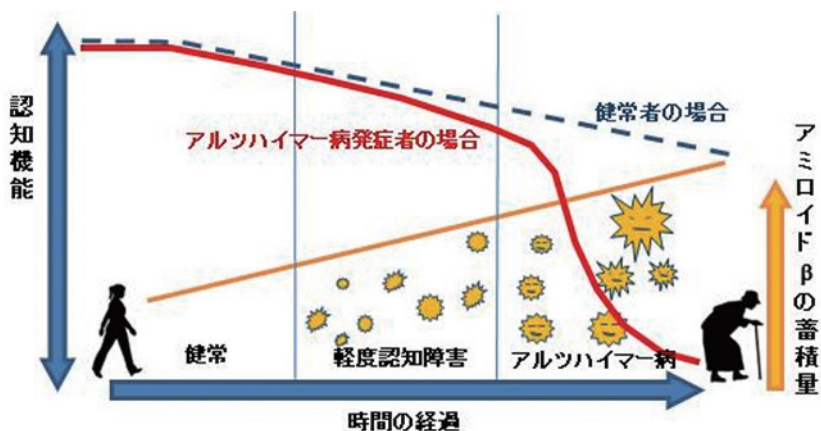
アルツハイマー型認知症疑い



正常分布



当院 PET-CT 装置





手術後の早期回復に向けた栄養療法

管理栄養士 大脇 真有

当院で行われている術後早期回復プログラム『ERAS（イーラス）』をご紹介します。

ERASとは「**E**nhanced **R**ecovery **A**fter **S**urgery」の頭文字をとったもので、「術後の回復を強化する」という意味の略語です。この中にひとつに「術前経口補水」という栄養療法があります。

これまでは、手術というと前日から食止めになり、手術後数日間は点滴のみで過ごすことが主流でした。全身麻酔により全身の筋力が緩んで嘔吐することがあり、窒息や誤嚥性肺炎を防ぐために胃を空にする必要があるといわれていたからです。しかし、手術前に水分を摂っても胃の内容物は増加しないとの報告があり、近年では麻酔導入の2時間前まで飲水可とする施設が増えています。

水分の種類としては、水・お茶・炭水化物濃度12.5%の飲料（経口補水液など）が推奨されています。絶食期間を可能な限り短縮することで、患者さんの肉体的・精神的ストレスの軽減につながる事が期待されます。



※個々の病状により、例外となる場合があります

臨床検査部ニュース



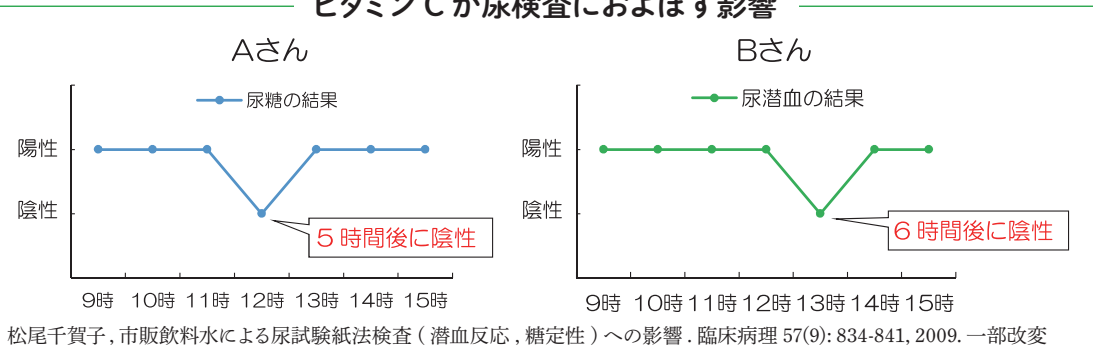
尿検査前はビタミンCの摂取を控えてください

ビタミンC（アスコルビン酸）は、多くの飲食物に含まれ、食品添加物やサプリメントとしても広く用いられています。ペットボトルのお茶には、酸化防止剤としてビタミンCを含む製品が多く、尿試験紙法による尿糖と尿潜血検査は偽陰性（本来は陽性だが陰性と結果が出る）になってしまうことが知られています。

下図は、朝7時から2時間おきに約200～300mLのお茶を飲み、9時から1時間ごとに行った尿検査の例です。Aさんは尿糖検査が陽性でしたが、5時間後に陰性化しています。Bさんは、尿潜血検査が陽性でしたが、6時間後に陰性化しています。

ビタミンCは、尿中に排泄され、摂取後4～6時間で尿中濃度が最高値に達します。このようなことから、尿検査の前は、ビタミンCを多く含む飲食物やサプリメントを摂取しすぎないように気を付けてください。

ビタミンCが尿検査におよぼす影響








☆転院先の種類について

当院での治療が落ち着いた後、すぐにはご自宅への退院が難しい場合に、医師より**転院**について案内することがあります。国では、医療機関の機能分化を進めており、ひとくちに医療機関といっても、その機能・役割によっていくつかの種類に分かれています。転院に際しては**ご病状や必要な医療に沿って医療機関を選択する**必要があります。

今回は、当院から転院となることが比較的多い医療機関の特徴をそれぞれご紹介します。

病棟の種類	回復期リハビリテーション病棟	地域包括ケア病棟	療養病棟	緩和ケア病棟
病棟の特徴	リハビリの専門病棟であり、入院の対象となる疾患や入院までの期間・入院期間が決めている。主な対象者は、脳梗塞や脳出血、大腿骨骨折で、発症2か月以内の方。 	急性期の治療を終え、自宅への退院を目指す方に対して、引き続き治療やリハビリが行われたり、自宅の環境やサービスの調整など、退院に向けた準備を行っていく病棟。 	急性期の治療を終えた後も継続して医療的なケアが必要な方が長期に入院できる病棟。積極的なリハビリは行えないことが多い。また、救命や専門的な治療はできない体制。患者さんの状態（医療の重症度）により受け入れが決定する。 	がんの進行に伴った身体的・精神的な症状を緩和する医療を行う病棟。がんを治すことを目標にした治療（抗がん剤治療やホルモン療法、放射線治療や手術など）が困難な病状の方が対象となる。
入院期間	60日～180日間 ※疾病ごとに最大の入院期間が決めている。	（最大）60日間	3か月や半年などと期間を設けている病院もあれば、入院期間を設けていない病院もある。	長期入院を前提とした入院は不可。 （平均的な入院期間は1か月前後）

医療サービス支援センター（医療福祉相談室 / 患者・看護相談室）では、転院についてのお気持ちや、希望する地域や経済的なご心配などについてお話を伺い、転院先を探すお手伝いを行っています。

転院には治療方針などが大きく関係する為、まずは担当医と今後の方針についてご相談ください！

今日からはじめる

健康講座



4月号



総合診療科 教授
小林 弘幸

花粉症と腸内環境

日ごとに暖かくなり、春を実感する時期ですが、スギやヒノキを原因とする春の花粉症に悩まされている方も多いのではないのでしょうか。

花粉症は、免疫細胞が花粉を異物とみなして攻撃してしまうため、くしゃみや鼻水、目の痒みなどを引き起こします。この免疫細胞は腸内環境と関連することが分かってきました。腸内に生息している細菌は、善玉菌:悪玉菌:日和見菌 = 2:1:7が理想とされています。腸の表面には多くの免疫細胞が多数存在し、インフルエンザなどのウイルスが進入するのを阻止し、感染症から身体を守る働きをしています。しかし、腸内環境が悪化すると、免疫細胞の状態も乱れたり、感染症にかかりやすくなったりと、逆に免疫細胞が過剰に反応することで花粉症の症状がひどくなることがあります。しかし、最新の研究では、ビフィズス菌という善玉菌を摂取することで、免疫細胞の司令塔のバランスが改善され、花粉症の症状が改善されたというデータが報告されています。

薬を飲むことで花粉症の症状を抑えるのは効果的ですが、腸内環境を改善することができれば、花粉症だけではなく、便秘の改善や太りにくくなるなど、多くのメリットがあります。善玉菌である乳酸菌やビフィズス菌を増やすために、ヨーグルトや発酵食品を積極的に取り入れましょう。さらに、善玉菌の餌となる食物繊維やオリゴ糖を摂取することも効果的です。腸内環境を整え、1年を通して快適に過ごしましょう。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

〒113-8431 文京区本郷3-1-3

TEL: 03-3813-3111 (大代表)

編集 広報管理運営委員会

発行 事務部 管理課 (2020年4月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院HP】